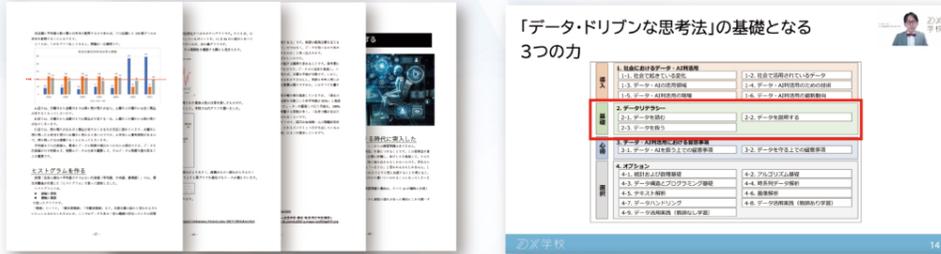


## 受講形態

テキスト + オンライン学習 + 講師対面 実践型講義

DX学校のテキストとオンライン学習システムで学び、講師と一緒に実践しながら進めます。  
オンライン学習システムでは、DX学校校長梅崎健理による解説動画が見放題です。



## 講師紹介 DX学校 校長



株式会社ディグナ 代表取締役  
梅崎 健理 (うめざき けんり)

平成5年生まれ 鹿児島県出身  
慶應義塾大学大学院  
政策・メディア研究科 研究員(非常勤)

「～なう(SNSで今何をしているかを表す言葉)」で「新語・流行語大賞」トップ10受賞。中小企業庁「中小企業デジタル化応援隊事業」説明会講師ほか、IT活用セミナー等多数。ITに関する中小企業からの相談実績は累計4,000件以上。

## 受講までの流れ

お申込み

受講準備

講座開始

お申込みはDX学校のWEBサイト(<https://dx.school/>)、  
またはお近くのDX学校へお問い合わせください。



# 経営幹部のための データ・ドリブン講座

経営に必要不可欠なデータ・ドリブン思考を身につける

## データ・ドリブン思考で得られる3つの力

## POINT 1

## 意思決定力

データ・ドリブンなアプローチでは、客観的なデータを用いて経営判断を行います。これにより、思い込み(情報の偏りやバイアス)を排除し、より合理的な意思決定が可能になります。



## POINT 2

## 予測能力

データ分析を通じて過去のパターンやトレンドを理解し、将来の動向を予測する能力が向上します。これにより、変化する市場環境に対して柔軟に対応し、競争力を維持することができます。



## POINT 3

## 洞察力

データ分析を通じて市場や顧客のニーズを洞察する能力が向上します。これにより、新たなビジネス機会を発見し、成長戦略を展開することができます。



データ・ドリブン思考を身につけて  
これからの時代を生き抜く力を手に入れましょう!

DX学校® データ・ドリブン講座  
体験動画公開中  
今すぐ動画をチェック



スマートフォンで  
QRコードを  
読み取ってください。

DX学校

お問い合わせ先はこちら (受付:平日10:00~17:00)

0120-659-189

info@dx.school https://dx.school

経営幹部のための

# データ・ドリブン講座

経営に必要不可欠なデータ・ドリブン思考を身につける

## データ・ドリブン講座 3つの特徴

特徴

1

### データを元にした意思決定が可能となり 効果的な戦略を立案する力が身につく

「データを読む力」「データを説明する力」「データを扱う力」を習得することで、KKD(勘・経験・度胸)に頼ることなく、データから適切な戦略を立案することができます。市場での持続的な成長と競争力の維持に必要な不可欠な能力です。

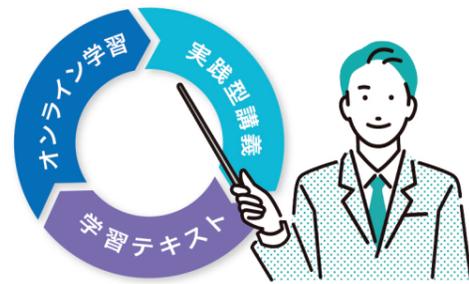


特徴

2

### あなたの学習を成功に導くために 担当講師が最後まで並走

オンライン学習と講師との実践型講義のハイブリット方式を採用。迷うことなく学習を進められ、実務に活かせる知識とスキルを習得できます。講師が親身になって最後までサポートし、最高の学習体験を実現します。



特徴

3

### 経営幹部の意識が変わり、 行動に変革が起こり、組織が変わる

講座受講により、経営幹部の意識を根本的に変え、これまでの感覚や経験に頼らず、データに基づいた意思決定を行うように導きます。また、経営幹部のパフォーマンスが向上することにより、組織の競争力が強化され、持続的な成長を実現します。



中小企業を支援し続けたDX学校のノウハウが集約された講座です

DX学校® データ・ドリブン講座  
体験動画公開中  
今すぐ動画をチェック



スマートフォンで  
QRコードを  
読み取ってください。

## カリキュラム(一覧)

### 第1章 経営幹部が変わらなければならない

- 時代の変化に合わせる
- デジタル時代の「読み・書き・ソロバン」が「データ・ドリブンな思考法」
- 「データ・ドリブンな思考法」が求められるようになった理由
- スポーツでもデータ活用はもうあたりまえ
- 経営幹部が変わらなければならない
- 本講座の目的
- 「データ・ドリブンな思考法」の基礎となる3つの力

### 第2章 必要な力1: データを読む力を身につける

- 公開されているデータを活用する
- 思い込みを排除してデータを見る
- データの特徴や傾向をつかむ
- 全体の傾向をつかむ。平均値だけではない代表値(平均値、中央値、最頻値)
- 平均値を使ってはいけない例
- ヒストグラムを作る

### 第3章 必要な力2: データを説明する力を身につける

- データを可視化してみる
- データを比較してみる
- データを比較する視点
- データの関係性を読み解く 相関: 2つのデータの関係性
- 相関関係と因果関係
- こんなグラフは気をつけよう

### 第4章 必要な力3: データを扱う力を身につける

- 自社内で使えるデータを集める
- 自社でデータを収集することを考える
- 社内データを統合するときは表記の揺れを修正する
- 社内になければ社外から調達する
- Excelのデータの扱い方・Excelのお作法
- その他のExcel便利機能・「マクロ」には注意
- はずれ値と異常値、欠損データ

### 第5章 ビジネス・パーソンに求められるさらに3つの力

- データから伸びしろをみつけ出し、施策を考える
- まず必要なデータを調達する
- データを分類する力
- データの分類「グループ化」が陥りがちなこと
- 「セグメント化」とは
- データから法則をみつける力
- データから予測する力
- 「仮説」→「検証」→「施策」を行う

### 第6章 AIを活用する

- 多くのことがAIのできる時代に突入した
- AIとは?
- 強いAIと弱いAI
- 特化型AIと汎用型AI
- AIを使いこなすのにも必要な「データ・ドリブンな思考法」

### 第7章 さらに勉強したい人のために

- Excel (またはGoogleスプレッドシート)を極める
- MOS (Microsoft Office Specialist)
- 日商PC検定 (データ活用)
- Google Workspace認定資格
- データ・リテラシーを向上させる
- 書籍『教養としてのデータサイエンス』
- 書籍『図解まるわかり データサイエンスのしくみ』
- 統計検定
- データサイエンティスト検定™ リテラシーレベル

### 第8章 データ分析のシステムを構築する

- データ分析ツールを導入する
- 自社独自のデータ分析システムを構築する

## 受講イメージ

### ■ 1週間の流れ(例)

【月曜日】  
テキスト学習



【火曜日】  
教養動画視聴 週1回



【水曜日】  
小テスト・課題



【金曜日】  
講師対面講義 週1回



毎週繰り返し



DX学校

お問い合わせ先はこちら (受付: 平日10:00~17:00)

0120-659-189

info@dx.school https://dx.school